

令和8年度 第1回 地域密着型サービス運営推進会議

施設名：グループホーム水の元

日 時：令和8年5月29日(金) 10:30～11:10

場 所：グループホーム水の元 中央ホール

出席者：利用者代表1名 利用者家族代表1名

地域住民代表1名

有識者1名

高齢者あんしん支援センター職員1名

出雲市高齢者福祉課職員1名

水の元職員2名

1 近況報告

(1) 入居状況（令和8年5月現在）

17名入居中（ヒガシヤ8名、ニシヤ9名）

性 別 : 男性4名、女性13名

平均年齢 : 男性88.2歳、女性87歳

平均介護度： 要介護2.1

待機者数 : 10名

■要介護度別

要 介 護 度	人 数
要 支 援 1	0名
要 支 援 2	0名
要 介 護 1	7名
要 介 護 2	5名
要 介 護 3	2名
要 介 護 4	2名
要 介 護 5	1名
合 計	17名

■年齢別利用者数

年 齢 層	人 数
65歳未満	0名
65～69歳	0名
70～74歳	0名
75～79歳	1名
80～84歳	5名
85～89歳	4名
90歳以上	7名
合 計	17名

(2) 活動報告

「水の元だより」参照 外出や施設内外の活動の様子、お孫さんの結婚式に出席されたこと等を報告しました。

(3) 事故報告（令和8年5月27日現在、単位：件）

事 故 内 容		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
1	転倒・尻もち	2	3											
2	転落・ずり落ち													
3	誤嚥													
4	離設	1												
5	誤薬・薬	1												
6	異食													
11	その他													
合計		4	3											

(4) ヒヤリはっと（4～5月）

1件…裁縫で使用した待針がベッドマットのゴムに残っていたという事例でした。

(5) 身体拘束適正化委員会の報告

現在、身体拘束はありません。

(6) 苦情報告

苦情はありません

2 職員研修

心肺蘇生法・AED研修(内部)

⇒研修を実施してみて、5cmの圧迫100回を目安に続けることの困難さを感じたという意見がありました。

権利擁護研修(外部)

3 その他（自由意見）

- ・AED研修の講師は外部から呼ばれましたか？

⇒外部研修を受けた施設長が講師として実施しました。講習用器具を消防署よりお借りして研修を行いました。

- ・地域との関わりが課題として多い中、近隣のお宅を訪問する活動等に感心しました。

⇒利用者様は個別で順番に訪問し、お庭に入ってきれいなお花を見させていただいています。快く受け入れてくださいます。

コミュニティセンターの子ども食堂参加や小学校の読み聞かせも行っていましたが、時間帯が合わない等で機会が減っている部分もあります。

「とんどさん」といった、地域の行事も開催されればできるだけ参加したいと思っています

す。

ご家族より、旬の竹の子をいただく機会がありました。利用者さんと下ごしらえから一緒に調理を行い、皆さんで召し上がっていただきました。

- ・利用者さんが元気に散歩をしておられますね。
➡散歩の他、掃除やお手伝い活動も積極的に行われています。将棋がお好きで強いので、将棋のできる方がおられれば、余暇活動でお相手をお願いします。
- ・出雲地域はコロナがほとんど聞かれなくなったが、マスク着用についてはどうでしょうか？
- ・訪問時は各ご家庭によって使い分けています。
➡これから気温が高くなるとマスク着用はさらに負担が増します。しかし、利用者様が感染症罹患時に重症化リスクを考えると未着用という決断にはなかなか至りません。
他の施設では任意になったところもあります。場面によって使い分けをする等の検討を施設内で行っていきたいです。
- ・現在は面会時の制限等はいかがでしょうか？
➡ご家族は皆さんマスク着用で来られています。検温は行っておらず、面会の制限はありません。リビング内や居室での面会可能ですし、一緒に外出や通院に出かけられることもあります。
- ・昼食のよいにおいがしてきましたが、施設で主流になりつつある湯煎食材等は使っておられますか？
➡他からもよく言われますが、3食手作りにこだわっています。人手が少ないと簡単なものになりますが、いわゆる介護食ではなく手作りの食事をお出しするようにしています。前の施設ではあまり食べられなかった方が当ホームではよく召し上がるようになったということもあります。利用者様が調理を手伝ってくれて、充実した生活の一部になっています。
- ・利用者さんがいきいきと生活しておられますね。職員さんもととても明るく、一緒に手を振ってくれて近隣の者としてはとても嬉しいです。
➡ありがとうございます。職員にとっても励みになり喜びます。
- ・こちらを利用されている方のご家族の生の声を聞いてみたいです。
➡（ご家族代表）感謝するほかありません。他の施設で環境が合わなかったことから1日で退所してくれと言われたことがあります。そのタイミングで新設の水の元さんを知り、最初の入所者となりました。けがによって全介助となってしまう、大変だと思いますが安心してお任せすることができています。感謝しかありません。
➡（施設側）いろいろな経緯があり、全介助にはなりましたが、ご本人は楽しく過ごせているように感じています。
- ・何か工夫されていることがありますか？
➡工夫していることはありません。ご家族のご協力のおかげです。そのうえで職員皆で支援させていただいています。ご自宅に帰省したりお墓参りをしたりしました。ご兄弟に会ったことや以前勤めていたお店で食事をすることもできました。ご協力いただきありがとうございます。